



スクールインフォメーション ～学校だより～

鏡石駅の花壇整備

岩瀬農業高校

6月19日(木)、ヒューマンサービス科2年生9名が、一般社団法人かがみいし振興公社と連携して、鏡石駅の花壇にアゲラタムとジニアとマリーゴールドを植栽しました。

同じく鏡石駅西口には本校農産物も販売されているまちの駅かんかんてらすが設置されているため、ご利用の際には是非花壇をご覧ください。



終業式と夏休みのフリー寺子屋

第一小学校

7月19日(金)に第1学期終業式を行いました。校長先生から、休み中は、特に水の事故に気をつけ、自分の命は自分で守るようにとのお話をいただきました。また、3名の代表児童が1学期の反省を堂々と発表しました。全校で行う終業式は久しぶりでしたが、真剣な態度でお話を聞くことができました。

7月22日(月)から7月24日(水)まで、「夏休みフリー寺子屋」を行いました。今年も学校応援団の方々にご協力いただきながら、低・中・高学年に分かれてそれぞれの場所で真剣に学習に取り組んでいました。



暑い夏、躍動する鏡中生！

鏡石中学校

7月22日(月)～24日(水)に福島県中体連総合大会が行われ、男子バレーボール部、男子バドミントンではシングルスに村上将梧さんが、水泳では男子100mバタフライに有賀和夢さんが出場しました。いずれも入賞とはなりませんでしたが、県大会という大きな舞台で最後まであきらめない鏡中魂あふれる姿を、会場全体に見せてくれました。

7月28日(日)に県吹奏楽コンクールがいわき市文化交流会館アリオスで開かれ、吹奏楽部が出場し、銀賞を受賞しました。「一音懸命」で豊かなハーモニーを響かせてくれました。

8月8日(木)、9日(金)に東北中学校陸上大会が宮城県仙台市で行われました。共通女子200mに藤井史織さんが出場し、予選全体9位で惜しくも決勝進出を逃しましたが、持ち前のスピードと集中力で、全力を尽くして走り抜けました。

生徒たちはこの暑い夏にもかかわらず、各大会でその力を存分に発揮し、最善を尽くしてくれました。



食育教室(4～6年)を実施

第二小学校

7月5日(金)に郡山女子大学食物栄養学科との連携による食育教室(4～6年)が実施されました。

郡山女子大学の岡部聡子教授や学生さんをお迎えし、5・6年生は、それぞれの持っている食に対する意識について『二次元イメージマッピング』という手法により食育教室が進められました。

4年生は『食と健康』というテーマで、あさりの炊き込みご飯を試食しながら貧血の症状や鉄分の働きを学びました。



●丸テーブルの展示
テーマは「アルツハイマー・認知症」です。

「おばけ新聞」に興味を持ち、おばけやしきへ探検に行くことにしたタツヤでしたが、そこで思わぬ人に出会い、「二ちようめのおばけやしき」。

●丸テーブルの展示
ゆかいな絵本「おじいちゃんのかしやみ」など、楽しい絵本が並ぶ展示コーナーをご覧ください。

家出をして駅前でひろつた「おばけ新聞」に興味を持ち、おばけやしきへ探検に行くことにしたタツヤでしたが、そこで思わぬ人に出会い、「二ちようめのおばけやしき」。

●児童室前のえほん展示
テーマは「おじいちゃん、おばあちゃん」です。おじいちゃんのかしやみがあまりに大きいので、いつも逃げてしまう孫の女の子。「もう、おじいちゃんなんて大嫌いよ」と言ってしまういます。おじいちゃんのかしやみは色々便利に使えるぞと力説するおじいちゃん。そのうち、本当に大きくしやみが出て大変なことに…？

●スペシャル展示コーナー
テーマは「おすすめ児童文学特集」です。モンスターホテルは、今夜のデモンジいさんの誕生日パーティーで大忙しです。そこへ人間の男の子が紛れ込んだから、さあ大変！ゆかいなモンスターたちがたくさん出てくる「モンスターホテル」シリーズ。

●スペシャル展示コーナー
テーマは「おすすめ児童文学特集」です。モンスターホテルは、今夜のデモンジいさんの誕生日パーティーで大忙しです。そこへ人間の男の子が紛れ込んだから、さあ大変！ゆかいなモンスターたちがたくさん出てくる「モンスターホテル」シリーズ。



LIBRARY INFORMATION

1994年「国際アルツハイマー病協会」(ADI)は、世界保健機関(WHO)と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、この日を中心に認知症の啓蒙を実施しています。また、9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、様々な取り組みを行っています。(厚生労働省ホームページより引用。)町図書館では、福祉とも課と連携し、関連図書を展開します。

司書おすすめ紹介



絵本 江戸のくらし
講談社 太田 大輔：作

本を開くと江戸の町の様子が描かれています。まずは、長屋の井戸端です。江戸時代、庶民のほとんどは3つに仕切った細長い長屋で生活していました。家の中に目を凝らすと、昔の道具が色々描かれています。くらしの道具の説明も詳しく載っています。その他にも、大人が読んでも面白い、江戸時代のくらしが垣間見える一冊です。



宿場町の日
講談社 いわた 慎二郎：作・絵

江戸時代、はたご屋(旅館)が集まった場所を「宿場町」と呼びました。旅が盛んになった江戸時代は、武士のほか、飛脚や商人、寺社巡りをする人など多くの人が街道を行き交いました。旅人の服装や持ち物、はたごの一日の様子などが見開きページいっぱいに描かれていて、すみずみまで絵を眺めて楽しめます。大人の方にもおすすめしたい、宿場町の様子を描いた絵本です。

Pick Up News 「みんなの造形教室」を開催します！

- ▶日時 10月5日(土) 13時30分～ ▶定員 10名
- ▶場所 図書館1階レファレンス室 ▶参加費 無料
- ▶持参するもの ハサミ、カッターナイフ、ボンド

※小学校低学年までのお子さんは、刃物を使いますので、大人の方と一緒に申し込みください。
※感染症拡大防止に十分配慮して開催します。状況により中止になることもございますのでご了承ください。

こちらの作品を作ります！



立体カード「UFO?!」